



おおいた消防指令センター
Oita Fire Prevention Command Center

VI マニュアル | Visual Identity Guide

・シンボルマーク



・和文ロゴタイプ

おおいた消防指令センター

・欧文ロゴタイプ

Oita Fire Prevention Command Center

・デザインコンセプト

『消防』という単語を聞くと、どうしても最初に思い浮かぶのは火事を防ぐというイメージだ。だが、消防指令センターは火事だけではなく、119通報の全てを受け付ける施設である。そのため、あえて火を連想させるモチーフは使わずに、受話器のイラストを使用することによって『大分の119通報を受け付ける施設』ということが一目でわかるロゴをデザインした。

全体的に丸い線で描くことによって親しみやすさを、黒と赤という強い色を使うことで緊急事態時の切迫感、消防指令センターのいざという時に頼れる心強さを表現している。また、大分の名前を中心にしてロゴを形作っているため、大分が一つになって消防の指令をまとめるというイメージが伝わるように制作した。

シンボルマーク・ロゴタイプバリエーション

・シンボルマーク1 (上・下)



・シンボルマーク2 (左・右)



・最小使用可能サイズ



Oita Fire Prevention Command Center の文字が潰れてしまう場合は
英字のみ削除して使用可能。

また、必要に応じてシンボルマークのみ（文字なし）での使用可能。

・シンボルマーク



Oita Fire Prevention
Command Center

英字表記横書き（全て一列）の場合は、
文字に OITA は入れないこと。

・シンボルマーク



ITA Fire Prevention Command Center



ITA Fire Prevention Command Center



Oita Fire Prevention
Command Center



Oita Fire Prevention
Command Center

・最小使用可能サイズ



Oita Fire Prevention
Command Center

00mm



Oita Fire Prevention
Command Center

00mm



Oita Fire Prevention
Command Center

00mm

アイソレーション

・余白規定



基本的にシンボルマーク+ロゴを配置する際は図の A と同じ、またはそれ以上の空白を周りに入れること。A の空白は、ロゴの『指』の字の大きさを目安に作っている。必ずしも正確である必要はないが、ロゴとシンボルマークがきちんと視認できるように周りに必ず空間を作ること。英文字横並びのロゴを使う場合と、シンボルマークのみで配置する場合は、A を 2 つ分配置した空間を設けることを推奨する。

カラーシステム

・コーポレートカラー



<プロセスカラー>

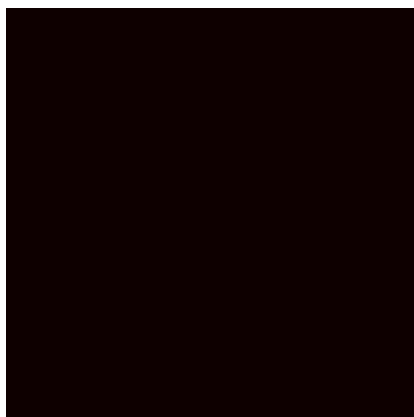
C : 00%
M : 96%
Y : 94%
K : 00%

<特色>

DIC 2501
PANTONE 185C

<WEB カラー>

#E71F19



<プロセスカラー>

C : 40%
M : 40%
Y : 40%
K : 100%

<特色>

DIC P-1000
PANTONE Black 6 C

<WEB カラー>

#333333

・モノクロ表示



K : 50%



K : 100%

・ネガ表示（使用例）



ネガ表示にする際は、基本的にシンボルマークのイラストは線画のみとなる。
(電話や横顔は塗り潰さないこと)

シンボル・ロゴ使用禁止例

・使用禁止例



タテ・ヨコの比率を変える



フチをつける



視認性を損なう色や
写真の上に配置する



視認性を損なう
柄の上に配置する



シンボルと異なる書体を
組み合わせる



別の色に置き換える

このページで挙げている例以外でも、視認性を損ったりシンボルのイメージを壊すような使用は禁止とする。

推奨フォント

・和文書体

○丸アンチック+ProN

Regular

いろはにほへと ちりぬるを
わかよたれそ つねならむ
伊呂波仁保部止 知利奴留遠
和加与太礼曾 川祢奈良武

Medium

いろはにほへと ちりぬるを
わかよたれそ つねならむ
伊呂波仁保部止 知利奴留遠
和加与太礼曾 川祢奈良武

Light

いろはにほへと ちりぬるを
わかよたれそ つねならむ
伊呂波仁保部止 知利奴留遠
和加与太礼曾 川祢奈良武

・欧文書体

○Adobe Clean

Regular

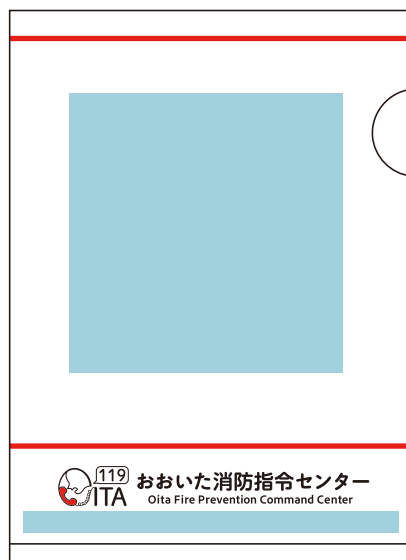
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890:;%&()

Bold

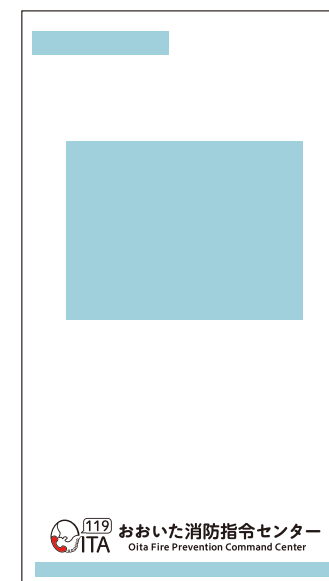
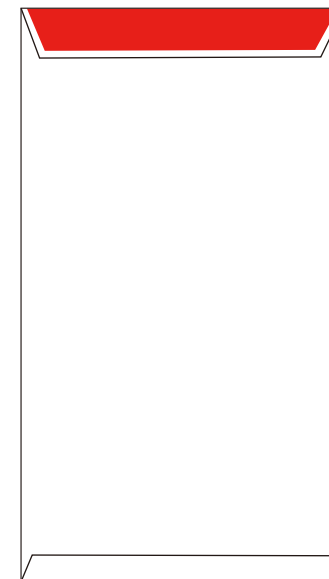
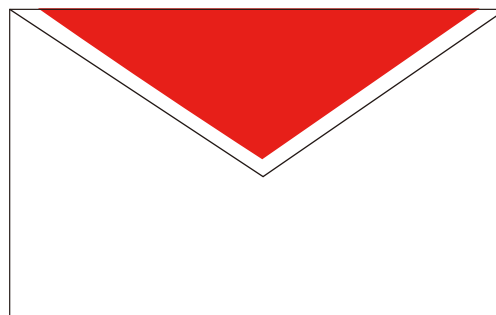
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890:;%&()

ステーションナリー

・クリアファイル



・封筒



シンボルを使用したグッズの例。
青の四角形の中には電話番号や相手先などの情報等
用途に合った文を入れるイメージで制作している。
シンボルを大きく配置し、イラストを載せるような
感覚で使用するのも良いだろう。

ステーションナリー

・ボールペン・蛍光ペン



・メモ帳



・名刺



ワッペンデザイン

デザインイメージ



着用例



ワッペンは、「大分県」ということが一目でわかるように大きく県章を置くデザインにした。県花である梅の花を入れ、背景全体は夜空を模している。大分県の形が描かれた月を見上げると、その上におおいた消防指令センターの英訳が目に入るような配置となっている。螺旋を描いた赤い糸のようなモチーフには、「消防指令センターによって大分の命を繋ぐ」という意味合いを込めた。厳密な色の指定はしていないが、使用している赤色はシンボルマークと同じ赤色にしている。